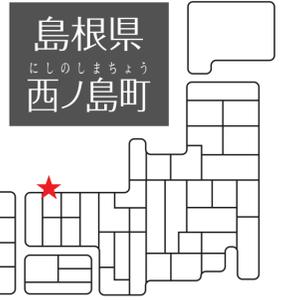




なかがみ

ひかり

中上 光



個人部門

水産業

雇用

その他
(地域資源の活用、所得雇用の増大)



隠岐のいわがき



クリーニング前の養殖イワガキ



中上 氏

概要

- ◆ 故郷の海を活かした生活がしたいと考え、昭和 53 年にイタヤガイの養殖を始めたが、収入時期が限定的であるため、地元の海に生息していた大きな天然のイワガキに着目。
- ◆ 当初は人工的な種苗生産がうまくいかなかったが、島根県水産試験場（現水産技術センター）の協力もあり、平成4年に全国で初めてイワガキの完全養殖に成功。エサは隠岐海域の天然の植物プランクトンのみであり、海洋環境にも優しく、地域の資源を最大限に活用した産業となっている。

成果

- ◆ 養殖成功をきっかけに、隠岐4島にイワガキ養殖が広がり、「隠岐のいわがき」という名称でブランド化。全国的にも厳しい自主的な「衛生管理マニュアル」を策定し、生産者全員が統一した取組を行うことで、安全な生食用イワガキとして高い評価を受けている。
- ◆ イワガキ養殖業の普及により、所得向上と地域の雇用創出に大きく寄与。隠岐地域では令和5年には 31 経営体がイワガキ養殖業を営んでおり、水揚金額は全体で 1.8 億円となった。